

P T A だより 6 月号

愛媛県立宇和島東高等学校

日曜	行事予定
1 金	奉仕活動
2 土	県総体 全国高等学校珠算・電卓・ワープロ競技大会県予選(準備)
3 日	
4 月	
5 火	
6 水	第1回就職志望者説明会(3年)
7 木	授業料等口座引落日
8 金	全校集会(表彰)・就職・公務員模試(3年②)・食品衛生講習会(16:00～)
9 土	スタディサポート(1年)・全統高2模試(2年1～4組)進研マーク模試(3年)
10 日	定期演奏会(南予文化会館)・進研マーク模試(3年)・日商簿記検定
11 月	
12 火	漢字テスト③
13 水	文化祭準備
14 木	文化祭
15 金	漢字能力検定①
16 土	県学力テスト①(3年)
17 日	県学力テスト①(3年)・全商珠算・電卓実務検定
18 月	
19 火	期末考査発表
20 水	安全点検日・アクティブ・ラーニング研究会(13:45～)
21 木	3年進学指導講演会(7限)
22 金	人権・同和教育ホームルーム活動①
23 土	
24 日	全商簿記実務検定
25 月	就職保護者説明会(18:00～26日)
26 火	↑期末考査
27 水	
28 木	
29 金	
30 土	

小説『火花』で芥川賞作家となった又吉直樹氏が、現役大学生との対談で、「本をなんで読むんかって言われると、ただ面白からってということ」と述べている。そして、なんでおもしろいんかなというのをずっと掘り下げて考えていったら、普段生きている中で、なんか「これ、こうかな？」と漠然としていて言葉にはできていないけど、なんとなく感じていることが小説の中でピシッと決まったきれいな言葉で整理されて出てきたときに、「ああ、そうや、俺が言いたかったことはこれや！」とか、「なんでここに自分のそう感じたことが、この人は分かってんねやろ！」というのが読書の最初の面白さであり、太宰とかはそういう共感させる力っていうのがすごく強いと思うと続いていた。又吉氏流の本を読む楽しさとは、広い意味での安心と共感という言葉でまとめることができるのかもしれない。本を読む「面白さ」を、至福の時間をもっと、もっと、持ちたいと思う。読んだことをもとに考え、自分の「世界」を再構築する時間、「本」について友人と話し合う時間もまた然り。「先生、この本面白かったです。先生も読んでみてください」と手渡された本を読んでみる。「読む」という行為の中にしかないものも、確かにあるように思われる。(研修図書課)

「6月PTAだより」 最近の学校行事報告

(5月の出来事を掲載しています。)

1 校内活動等報告

(1) 新入生集団研修 (1年生)

5月10日(木)に新入生集団研修を行いました。



(2) 修学旅行 (2年生)

5月8日(火)～5月11日(金)に関東班・北海道班に分かれて、修学旅行に行ってきました。



関東班



北海道班

(3) 遠足 (3年生)

5月10日(木)に坊っちゃん劇場と砥部動物園に行きました。



砥部動物園



坊っちゃん劇場

(4) 防災退避訓練

5月18日(金)に南海トラフ大震災が発生したという想定で、訓練を行いました。今回は、津波退避訓練のため、全校生徒で屋上へ上がりました。



5・6月は、修学旅行や遠足、各種大会等の活動の様子などを載せています。
宇和島東高校ホームページ (URL) <http://uwajimahigashi-h.esnet.ed.jp>